

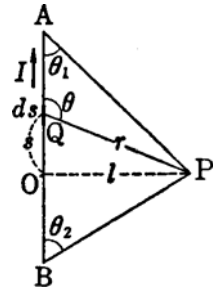
電磁気学 B 演習 第 3 回解答

1. 点 P から AB に下した垂線の足を O, AB 上の一点 Q のところの線要素を ds , $OQ = s$, $PQ = r$, $\angle PQA = \theta$ とすると

$$r = \frac{l}{\sin(\pi - \theta)} = \frac{l}{\sin \theta}$$

$$s = l \cot(\pi - \theta) = -l \cot \theta$$

$$ds = -\frac{l}{\sin^2 \theta} d\theta$$



であるから、 $I ds$ によって P に生じる磁場 dB は Biot-Savart の法則により

$$dB = \frac{\mu_0 I}{4\pi} \frac{ds \sin \theta}{r^2} = \frac{I}{4\pi l} \sin \theta d\theta$$

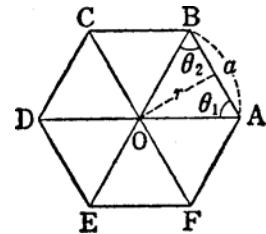
よって

$$B = \frac{\mu_0 I}{4\pi l} \int_{\theta_2}^{\pi - \theta_1} \sin \theta d\theta = \frac{\mu_0 I}{4\pi l} [-\cos \theta]_{\theta_2}^{\pi - \theta_1} = \frac{\mu_0 I}{4\pi l} (\cos \theta_1 + \cos \theta_2)$$

2. 図より、 $\cos \theta_1 = \cos \theta_2 = \frac{1}{2}$, $r = \frac{\sqrt{3}}{2} a$ となる。よって

$$B_{AB} = \frac{\mu_0 I}{4\pi r} (\cos \theta_1 + \cos \theta_2) = \frac{\mu_0 I}{4\pi \sqrt{3} a / 2} \cdot 2 \cdot \frac{1}{2}$$

$$= \frac{\mu_0 I}{2\pi \sqrt{3} a}$$



これより

$$B = 6B_{AB} = \frac{\sqrt{3}\mu_0 I}{\pi a}$$

3.

- (1) 導線に垂直な平面において、2 導線を結ぶ直線にそって x 軸, それに垂直に y 軸をとり、図のように $r_1, r_2, \theta_1, \theta_2$ を定める。両電流によって点 P に生じる磁場を B_1, B_2 とすると

$$B_1 = \frac{\mu_0 I}{2\pi r_1}, B_2 = \frac{\mu_0 I}{2\pi r_2}$$

合成磁界の x, y 成分を B_x, B_y , その大きさを B , y 軸からの角を図のように θ とすると

$$\begin{aligned}
B &= \sqrt{B_x^2 + B_y^2} \\
&= \sqrt{B_1^2 + B_2^2 + 2B_1B_2(\cos\theta_1 \cos\theta_2 + \sin\theta_1 \sin\theta_2)} \\
&= \frac{\mu_0 I}{2\pi} \sqrt{\frac{1}{r_1^2} + \frac{1}{r_2^2} + \frac{2}{r_1 r_2} \cos(\theta_2 - \theta_1)} = \frac{\mu_0 I}{2\pi r_1 r_2} \sqrt{r_1^2 + r_2^2 + 2r_1 r_2 \cos(\theta_2 - \theta_1)}
\end{aligned}$$

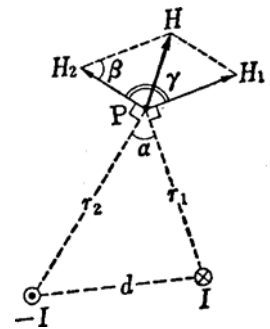
よって磁界の強さは

$$B = \frac{\mu_0 I}{2\pi r_1 r_2} \sqrt{r_1^2 + r_2^2 + 2r_1 r_2 \cos\alpha} \quad (\alpha = \theta_2 - \theta_1)$$

- (2) 点Pの両電線からの距離を r_1, r_2 とすると、両電流からP点に生ずる磁場の強さ B_1, B_2 は図の方向に、 $B_1 = \mu_0 I / 2\pi r_1$, $B_2 = \mu_0 I / 2\pi r_2$ である。P点から両線を見込む角を α , B_1, B_2 のなす角を γ とすると $\gamma = \pi - \alpha$ であるが、図の β の角は $\beta = \pi - \gamma$ であるので、 $\beta = \alpha$ である。したがって合成磁場の大きさ B は

$$\begin{aligned}
B &= \sqrt{B_1^2 + B_2^2 - 2B_1B_2 \cos\beta} \\
&= \frac{\mu_0 I}{2\pi r_1 r_2} \sqrt{r_1^2 + r_2^2 - 2r_1 r_2 \cos\alpha} = \frac{\mu_0 I d}{2\pi r_1 r_2}
\end{aligned}$$

$$\because r_1^2 + r_2^2 - 2r_1 r_2 \cos\alpha = d^2$$



4. (i) $0 < r < a$ の場合

円柱外に円柱の中心軸から半径 r ($r > a$) の同心円を考えると、円周上の磁界は円周上のどこでも大きさは等しく、円の接線方向を向く。よってアンペールの周回積分の法則より、

$$\frac{r^2}{a^2} I = \oint_C (\mathbf{H}, d\mathbf{l}) = 2\pi r H$$

よって

$$H = \frac{rI}{2\pi a^2}$$

以下も同様にして、

- (ii) $a < r < b$ の場合

$$H = \frac{I}{2\pi r}$$

- (ii) $b < r < c$ の場合

$$H = \frac{I}{2\pi r} \left(1 - \frac{r^2 - b^2}{c^2 - b^2} \right)$$

(ii) $c < r$ の場合

$$H = 0$$

5. 問 4 と同様で、

(i) 導体外

$$H = \frac{I}{2\pi r}$$

(ii) 導体内

$$H = \frac{rI}{2\pi a^2}$$